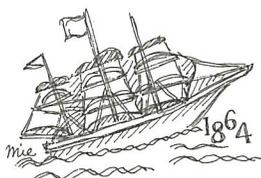


THE LATEST DOSHISHA



法人部

●第十九回東京新島講座

十月九日に第二十回東京新島講座公開講演会が有楽町朝日スクエアにおいて開催された。東京新島講座は例年十月に行われ、今回は廣川勝美大学文学部教授と安森敏隆女子大学教授がそれぞれ「花の都・源氏物語名所遊覧」、「新島襄の短歌―和歌的発想と短歌的発想―」の演題で講演された。

●一九九九年秋の叙勲

同志社大学名誉教授上羽創氏が勲三等

日中綬章、同志社大学名誉教授奥田聰氏が勲三等瑞宝章をそれぞれ受章され十一月九日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

創立記念礼拝 十一月二十八日(日)

十時 同志社栄光館

リュニオン 十一月二十八日(日)

十二時三十分 同志社新島会館

早天祈祷会 十一月二十九日(月)

七時 若王子山頂

創立百二十四周年記念式 十一月二十九日(月)

九時 大学神学館礼拝堂

●第六回国際主義教育教職員研修会

十二月十六日に第六回国際主義教育教職員研修会が大学至誠館会議室において開催された。本研修会は国際主義教育委員会主催で例年この時期に開催している。今回は元立命館総長で京都日仏協会会長の谷岡武雄氏が「EUは連邦国家をつくるか」のテーマで発題され、質疑応答を行った。

●第六回外国人教員懇談会

十二月十七日に第六回外国人教員懇談会が京都ガーデンパレスにおいて催された。本懇談会は国際主義教育委員会主催で例年この時期に開催され、今回は五十人が参加

して懇談した。

●第四回国際主義教育講演会

一月二十日に第四回同志社国際主義教育講演会が大学寧静館会議室において開催された。今回は同志社校友会コリアクラブ副会長の金泰成氏により、「同志社とコリアとの交流―戦前を中心に―」の演題で講演された。

大学

●京都産学ジョイント・イベントが開催される

一九九九年九月二日〜四日の三日間にわたり(財)京都工業会と工学部の共催で「99京都産学ジョイント・イベント」が開催された。このイベントは京都府内に本拠をもち、理工系学部を設置している京都大学、京都工芸繊維大学、立命館大学、龍谷大学、京都産業大学の六大学を会場に順次開催しているもの。今回第十回目を迎え「未来技術を支える先端科学」をメインテーマに工学部先端科学技術センター(略称RCAS T)の研究活動を中核に特別講演、ポスタ

ー展示(インテリジェント・テクノフェア)、講演・技術セミナー)、先端科学の研究拠点の施設や研究室の公開を実施、広く同志社大学工学部・理工学研究所の教育・研究活動の成果を紹介した。

また「一般施設の公開」として歴史資料館、学術情報センター(ラーネット記念図書館・情報処理実習教室・視聴覚教室)、同志社ハリス理化学校資料展示と本学教育施設の紹介も実施し、好評を得た。

●秋学期留学生別科および大学院入学式が行われる

十月一日、留学生別科(日本語教育センター)の入学式が神学館礼拝堂で行われ、留学生別科初年度の春学期入学者に続く三十二人が秋からの日本での新たな生活に希望を膨らませていた。また、同神学館礼拝堂にて大学院入学式も行われ、アメリカ研究秋学期入学生三人が式に参列し、新たな大学院生活に向け第一歩を踏み出した。

●同志社群馬講座開催

十一月十三日、群馬県前橋市の社会福祉総合センターで同志社大学、女子大学の共催により同志社群馬講座が開催された。これは両大学の教育研究活動の成果を関西地

域に止まらず広く社会に公開しようとするもので、六月の「同志社盛岡講座」に続き開催の運びとなった。今回のメインテーマは「いのちを考える」。村瀬学女子大学生生活科学部助教教授による「13歳—なぜここに子供と大人の境界を見ようとするのか」、西岡一大学工学部教授による「環境といのちの世紀—食べ物を中心に考える」と題した講演が行われた。会場には前橋市、高崎市をはじめ県内外からの受講者、一般市民や両大学の卒業生をあわせて百十人が参加。この講座に寄せる幅広い関心の高さがうかがわれた。

●二〇〇〇年度アドミSSIONズオフィス方式による入学者選抜(AO入試)の結果

十二月二日、二〇〇〇年度アドミSSIONズオフィス方式による入学者選抜(AO入試)の合格者八十四人を発表した。文学部文化学科が新たに参加したこと、文学部英文学科の出願基準が緩和されたこともあって、志願者は大幅に増加し、四百六十九人となった(昨年は三百三十五人)。志願者は全国にわたり、四十四都道府県から出願があった。海外の高校出身者の出願も昨年

と同数で十七人となっている。最終合格者は八十四人(昨年は七十六人)で、現役七十三人、既卒十一人。最高倍率は二十二倍(文化学科心理学専攻)、平均倍率は五・六倍であった。なお、入学手続き締切日までに八十四人中七十九人が手続きを完了した。

●「熊本バンドの人たち」展

「熊本バンド」とは、熊本洋学校でL・L・ジェーンズの教えを受けた生徒たちのうち、ジェーンズ邸で開かれた聖書研究会に出席して感化を受け一八七六(明治九)年一月三〇日に熊本市郊外の花岡山山頂で相携えて日本にキリスト教を広めようと盟約した人たちで前年に卒業してその場になかった小崎弘道や山崎為徳らを含む。彼らの多くは迫害を受けるなどで明治九年の秋以降、同志社に移り、同志社において社長(総長)として大きく貢献し、同志社の校風の基礎を作った。今回の展示は同志社との関係を中心に熊本バンドの歴史的意義を再確認しようとするものである。

(期間) 二〇〇〇年四月二八日(金)まで

(開室時間)

月～金 午前九時三十分～午後五時
土 午前九時三十分～午後十二時まで

(休室日) 祝日・同志社の休日

(場所) Neesima Room (同志社大学今

出川校地・ハリス理化学館二階)

●扶桑館リニューアル

今出川校地の扶桑館では現在改修工事が行われている。扶桑館は永年工字部の機械系・化学系実験棟として使われていたもの。

これにより、二階は学術フロンティア推進事業の研究施設、三階から五階は主として法学部、経済学部、商学部の演習教室などに改修され、少人数教育の場を提供する。

地階には大学会館内にあつた生協書籍部が移転。エントランスのデザインにも変更が加えられ、四月からはより多くの学生が利用しやすい建物として生まれ変わる。

●ラーネット記念図書館の日曜開館について

今出川図書館は昨年度秋学期より開講期間・試験期間の日曜日に開館してきましたが、今年度、田辺校地のラーネット記念図

書館においても七月から日曜開館を行つて

いる。

(開館時間) 午前十時から午後五時

(開室場所) 開架閲覧室、参考図書・雑誌室

(サービス) 資料閲覧と貸出圖書の返却の

み、コピー機は利用可

(日曜日の開館期間) 開講期間・試験期間

●田辺校地名変更

田辺校地の新しい愛称(通称)を学生、教職員に募集したところ、六十六通の応募があつた。その中で一番応募の多かった「京田辺キャンパス」が新しい名称(通称)に

決定。公式の校地名称としては二〇〇〇年四月一日から「京田辺校地」と表記される。

女子大学

●作曲公開講座

十月六日(水)頌啓館ホールにて、講師に作曲家の平義久氏(パリエコール・ノルマル音楽院作曲科教授)を招いて開催。平氏作曲の公開レッスンに続いて、総合的音楽観について興味深いお話をうかがう事ができた。また、時間が許す限り質問に答え

ていただいた。

●公開文化講演会

現代社会学部社会システム学科開設(申請)を記念して十月九日(土)大阪・IMPホール、十月十日(日)栄光館フアウラーチャペルにて開催。大阪会場は、中坊公平氏(弁護士)、田口奉童氏(財団法人国際通貨研究所主任研究員・四月より同志社女子大学教授に就任予定)、京都会場は、森浩一氏(同志社大学名誉教授)、鷹谷壽氏(学芸学部教授)による講演が行われた。

●日本語日本文学科第十一回公開講座

十月二十日(木)、新島記念講堂にて開催。講師は、大阪芸術大学の出口逸平氏。演題は、「京の劇作家たち」。現在活躍している劇作家たちに注目した話は興味深く、また京都という身近な場所を取り上げているため、熱心に聞く学生の姿が多くみられ、盛会のうちに終了した。

●同志社女子大学・城崎町歴史文学まつり

十月二十四日(日)・二十五日(月)、兵庫県立城崎大会議館・西村屋ホテル招月庭等にて開催し、城崎短歌コンクール表彰式、四人の講師による講演、記念コンサートなどが

行われた。講演の内容は次の通り。

●「鉄幹・晶子そして前田純孝」

安森敏隆（学芸学部教授）

●「城崎温泉 湯の縁起」

寺川真知夫（学芸学部教授）

●「中央と諸国、王朝女流作家の環境」

藤谷 壽（学芸学部教授）

●「宿泊産業におけるホスピタリティのあり方」

山上 徹（学芸学部教授）

●シエイクスピア公演

“As You Like It（お気に召すまま）”

学芸学部英語英文学科三・四年次の二年間にわたってシエイクスピアの作品を学び、英語劇により上演。企画から衣装、舞台装置、照明、演出、キャスト等すべて学生の手によって行われる。今年度第四十九回目を迎えたシエイクスピア公演は、同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年記念事業の一環として位置づけられ、十一月六日(土)栄光館ファウラーチャペルにて、十二日(金)・十三日(土)は新島記念講堂にて、“As You Like It（お気に召すまま）”を上演した。三日間とも、卒業生を含め多数の観客で賑わい、公演は大成功を

収めた。

●創立記念礼拝

十一月十九日(金)栄光館ファウラーチャペルにて遠藤順子氏（故遠藤周作氏夫人）を招いて行われた。「日本人の心に届くキリストー信者からのささやかな願い」と題して、夫を看取った経験から、今日的キリスト教の課題に触れたのち、自身の長男とパイプオルガン（鴛淵紹子同志社女子大学名誉教授演奏）、三味線とのジョイント演奏が行われた。

●ホームカミングデー

同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年を記念して今出川キャンパスにて開催。アメリカ、オーストラリア、韓国など海外を含め、二十〜九十歳代の約千二百人の卒業生が訪れた。栄光館ファウラーチャペルにて行われた厳かな「記念礼拝」に続いて、「記念式典」では親子三代・四代の卒業生（計十三組）を表彰し、エンブレムの発表を行った。また、永井路子氏（作家）による「見直したい女たちの歴史」をテーマとした記念講演が行われた後、純正館にて懇親パーティーを催した。卒業生のスピーチやマンドリンクラブOG有志に

よるミニコンサートが行われた。卒業生はそれぞれの学生時代を語り合い、終始なごやかな雰囲気であった。



同志社女子大学
エンブレム

●短期大学部公開講演会

十二月一日(木)新島記念講堂にて、講師に国際日本文化研究センター助教授井上章一氏を迎えて開催。井上氏には、社会と美人観念との関連について論じた著書があるが、今回の公演でも「女らしさと美しさ」という題で話された。講演後の質疑応答では、「女らしさ」について意見が交わされ、盛会であった。

●音楽学科定期演奏会

第二十九回定期演奏会を十二月五日(日)、京都コンサートホール（大ホール）にて開催。出演は音楽学科合唱団と管弦楽団で、カプレの「三声のミサ曲」、福島雄次郎の「道之鳥唄」、フアリヤのパレエ組曲「三角帽子」、フランクの交響曲二短調が演奏さ

れた。

●ミュージカル公演

『The Sound of Music』

短期大学部英米語科の授業「英米語特殊研究(英語音声身体表現研究)」で、英語の発声や発音と身振りや視線の取り方などの身体表現法を学ぶとともに、異文化への理解を深め、その集大成として、学生たちがミュージカルを上演する。全員がキャストとして登場するだけでなく、A D、照明、音楽等のスタッフとして一人一役も二役もこなす。十二回目となる今年度は同志社女子大学創立百二十五周年・新制大学設置五十周年記念事業の一環として位置づけ、十二月十六日(休)新島記念講堂・十二月十八日(土)シアター1200にて『The Sound of Music』を上演した。

高等学校

●ウエスリー高(交換留学・オーストラリア)の生徒来校 九月十八日(月)

女子六人・男子三人の九人で、付き添いはデニス・フリーマン先生、十月九日まで

滞在。

●岩倉祭

九月三十日(休)～十月四日(月)

●入試説明会

十月十五日(金)

同志社中学校以外の中学校対象

●進学説明会

十月十六日(土)

同志社中学校三年生保護者対象

●入試説明会

十月二十三日(土)

同志社中学校以外の保護者対象

●人権学習

十月二十八日(木)

午後、次のプログラムで実施、生徒は事後感想文提出。

○一年 ビデオ「子どもの権利」を見た後

「子どもの権利条約」(抄)を読む。

○二年 映画「ライフ・イズ・ビューティ

フル」を鑑賞。

○三年 講演(次のうちから一つを聴講)

「私の戦争体験」

布川庸子(立命館大学国際平和とミュー

ジামのボランティアガイド)

「働くこと 生きること」

中田 進(関西勤労者教育協会講師)

「聴覚言語障害者の現状と課題

三ツ矢直子

(京都市聴覚言語障害センター)

●宗教週間

十一月一日(月)～六日(土)

「かっこわるさのやさしさ」

大澤 宣(紫野教会牧師)

「釜ヶ崎で出会った人」

小柳伸頭(日本基督教団牧師)

「良き実をつける」

早川須賀子(株式会社J R勤務)

「極限の世界」

播磨 醇(日本基督教団牧師)

●保護者面談

十一月五日(金)

●教職員修養会

十一月十三日(土)

「キリスト教学校の問われているもの」
学校礼拝とは何か」をテーマに、小崎 眞(同志社女子中学校・高等学校教諭)と木村 良己(本校教諭)の発題で、関西セミナーハウスで開催。約二十人の参加があり、夕食・歓談の後解散。

●家庭クリスマス

十二月十一日(土)

教職員のファミリアを中心に約七十五人が本校食堂に集い、楽しいひとときを過ごした。

●止揚学園(滋賀県) 訪問

十二月十五日(木)

献金・リースをもって訪問、参加者十五人。

香里中高

九月二十三日(木)

文化祭

高校

十月一日(金)

中学

十月二日(土)

中学修学旅行

十月二十三日(土)～二十六日(火)

京都駅から特急雷鳥で新潟へ、新潟からバスで裏磐梯高原着、夜に星座の説明を聞く。二十四日、五色沼散策の後、リング狩り・蕎麦打ち体験・日新館で座禅体験など班別行動、磐梯高原連泊。二十五日、会津若松市内にて白虎隊記念館・隊士の墓を見学後、班別行動で会津城・山本覚馬・新島八重生誕地を訪問。バスにて日光湯元へ。二十六日、日光東照宮を見学後、宇都宮から新幹線にて帰京。

高校修学旅行

十月二十七日(水)～十一月一日(月)

二十七日夜、二班にわかれて関西国際空港発。アリゾナ記念館・戦艦ミズーリ号・ピシヨップ博物館見学。二十八日午前、ハワイ大学キャンパスツアー、午後、ポリネシアン文化センター見学。二十九日午前、ホノルル市街地のバスツアー、午後、オコリナビーチにて海水浴、三十日、班別行

動、夜にディナー・クルーズ、三十一日、行きと同様二班にわかれてホノルル空港発無事帰国。

トルコ大地震救援のボランティア

十月三十日(土)～十一月五日(金)

団派遣

本校より派遣された教員二人、高校・中学生徒各一人がトルコ共和国イズミット地震救援のため、震源地であるコジャエリ県のイズミット、ギョルジュクおよびサカリヤ県のアダバザルを訪問。生徒・保護者・教職員から集めた義援金をサカリヤ県知事へ手渡した。

教職員教育研究研修会

十一月十五日(月)

講師は明浄学院高等学校教諭川西寿美子先生、主題は「ジェンダーフリー教育をめざして」であった。本校の男女共学導入に伴って、どのような問題がおこるのか、どのように対処すべきなのか、セクシャルハラスメントなどの性差からおこる諸問題について、女性差別撤廃条約・厚生白書・東京女性財団作成資料などを使いながら実例や体験をあげ説明された。

宗教教育教職員研修会

十一月十七日(水)

同志社女子大学教授坂本清音先生を講師に迎え「創設期同志社の女子教育」と題した講演が行われた。同志社分校女紅場の設立から同志社女学校への発展、新島八重とスタークウエザーとの確執、新島襄の女子教育観などについてお話ししていただいた。

同和教育映画鑑賞会

十二月九日(木)・十二月十日(金)

高校 「グッド・ウィル・ハンティング」
中学 「マイ・フレンド・フォーエバー」
人権教育の一環として毎年映画を鑑賞した後、生徒全員に感想文を書かせている。

女子中高

修養会

高校修養会 九月十一日(土)・十二日(日)

兵庫県三田市にある、関西学院千刈キャンプ場に於いて行われた。テーマは「風立ちぬ いざ生きめやも」で、同志社社史資料室の本井康博先生を講師としてお迎えし、その発題を元に、自分を見つめ、仲間と向き合い、それぞれの夢を語り合った。

中学修養会 九月十八日(土)・十九日(日)

兵庫県三田市にある、関西学院千刈キャンプ場に於いて行われた。テーマは「21世紀をどう生きるか」女性として強く生きるために」。講師には、梅花中学・高等学校聖書科教諭の高橋詠子先生をお迎えした。世紀末を迎え、新しい世紀に向かって、それぞれがどのように生きていくのか、真剣に語り合い、また、共に生活する中で、豊かな経験をした。

●体育祭

九月二十七日(月)
それほど暑くもなく、快適な状態の中、白熱した思いで、覇を競い合った。

●文化祭

十月一日(金)～十月二日(土)
「La fete de la liberte (自由の祭典)」をテーマとして、学園最大の行事である文化祭が開催された。合唱コンクールで熱唱し、中学一年生はステンドカラーで「わたしの好きなもの」をボードに描き、通路に飾り、中学二・三年生はクラス対抗の展示コンクール、高校生は「貼り絵」の作品コンクール、その他、クラブの発表、有志による展示、演奏等、様々な分野で活発に活動した。

●中学写生会

十月二十六日(火)
京都市植物園で実施。

●秋季遠足

十月十日(水)
春季遠足がクラスの親睦を深めることが目的であるのに対して、今回は、歩くことを主眼にした。

●収穫感謝礼拝

十一月十二日(金)
ハンドベルと聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、翌十三日(土)に、収穫物を持ち寄り、午後からは、それらと募金を持って施設を訪問し、それぞれの場所で交流を持った。

●ページェント

十二月十七日(金)
午前の部は、生徒・教職員がクリスマスマズ礼拝として守り、午後の部は、京都市西山区にある平安徳義会の人々(幼稚園児から中学生まで十二人)をお招きし、一般の人とともに守った。なお、平安徳義会の方には、YWCAクラブ員と生徒のボランティアが腕を振るい接待にあたった。

国際中高

●始業式

九月一日(水)
七月入学生二十七人(中学十三人、高校生十三人)が加わって、二学期の始業式を

行った。

●高校体育祭

九月二十二日(水)
前日の雨のため実施が危ぶまれたが生徒たちの強い希望もあって強行。マスゲームと応援合戦、いくつかの団体種目のみを行った。

●中学体育祭

九月二十三日(木)
悪天候ではあったがなんとか実施できた。全学年、赤・青・白の三組に分かれて競技を行った。途中大雨のためいくつかの競技を残したまま終了しなければならなかったのが残念である。

●文化祭

九月二十四日(金)～二十六日(日)
中高とも、一、二年生はクラス展示、三年生は演劇発表という例年通りの形での文化祭であった。台風のため予定を縮小しての実施であったが出し物はすべて力作揃いで好評のうちに終えることができた。

●体験学習

十月八日(金)～九日(土)
中学三年生が富山県氷見・島尾海岸にて地曳網、キャンプファイヤーを体験。大敷網、魚市場を見学した。

●社会科見学

十月二十二日(金)
中学 奈良市内 オリエンテーリング
高一 京都市 東山歴史散策

高二 奈良県明日香村 サイクリング
高三 神戸市 神戸散策

●同和教育 十月二十六日(月)～三十一日(土)
今年は障害者差別の問題について学習。
講演会

山田火砂子(映画プロデューサー)
●中学クラス懇談会 十一月四日(木)
授業参観および担任とのクラス懇談。

●創立記念礼拝
講師に松山義則総長をお迎えして同志社
創立についての話を聞いた。

中学校

●学園祭 九月二十七日(月)～九月三十日(木)
本校および学生会館

各学年行事、生徒会行事、クラブ展覧会
および青森県の風間浦中学校との交流。特
に、コンピューターを駆使し全校生徒で製
作したマイクロアートの「飛び立つデイス
カバリー号」と「宇宙」の巨大作品は「す
ごい」の一言。

●体育祭 十月五日(火)
九月二十二日が雨のため延期

●全校バレーボール大会 十月二十八日(木)
本校グラウンド

●宗教人権週間 十一月一日(月)～六日(土)
「出会い」

前川宗甫(関西学院大学教授)
「良き実をつける」
早川須賀子
(「ジーザス・ロード」社長)

「自分を愛すること」
榎本てる子(京都教区巡回牧師)
「マイナスの世界」
播磨 醇(光明國家族教会牧師)

●人権行事 十一月六日(土)
○一・二年生全員
演劇鑑賞

「公園物語——われら自由猫」
○三年生(五コース(前の映画鑑賞含む))
から選択)

見学
「琵琶湖博物館」
「立命館国際平和ミュージアム・陪審法廷」
「リパティおおさか(大阪人権博物館)」
見学と散策
「人権ゆかりの地をたずねて」

●読書週間 十一月八日(月)～十三日(土)

●収穫感謝礼拝と施設訪問 十一月十三日(土)

「いちばん偉い者」
木安 透(世光教会牧師)

放課後、果物をもって、生徒会役員・ホ
ザナとハンドベル部員が白川学園を訪問・
交流した。

●創立記念礼拝 十一月二十日(土)
奨励「同志社」あこがれからの出発」
中村信博(同志社女子大学宗教部長)

●能・狂言鑑賞 十二月九日(木)
三年生(全員参加)
国語授業の一環として実施。

●クリスマス燭火礼拝 十二月十日(金)
全く新しい自由参加の企画で、夕刻、同
志社礼拝堂(チャペル)に於て開催された。
聖歌隊、ハンドベルクワイア、管弦楽部、
演劇部・英語部・生徒会役員の奉仕で同中
生・保護者を中心に約五百人が参加した。

●クリスマス礼拝 十二月二十日(月)
奨励「夢の贈り物」
山本真司(同志社国際中学校・高等学校教諭)

●スキーキャンプ 十二月二十三日(木)～二十七日(月)

三年生(自由参加)
四泊五日で、長野県志賀高原一の瀬スキ
ー場へ。二百七十人参加。

幼稚園

琵琶湖キャンプ

八月五日(木)
年長組の園児が、比良の琵琶湖キャンプ
場へ出掛け、水遊び、バーベキュー、スイ
カ割りなどを楽しんだ。

消防ちびっこ大会

九月六日(月)
年中・年長の園児が、上京消防署へ出掛
け、火事についてのお話を聞いてパネルシ
アターを観たり、煙の中を通つての体験学
習、また吹奏楽の演奏を聴いたりした。

九月お誕生日会

九月十七日(金)
午前中は、教員たちが園児に寸劇・音楽
などの出し物を行い、午後からはその月に
誕生日を迎えた園児と父母・教員が昼食を
共にし、ケーキにローソクをつけてお祝い
をした。九月は、七人の園児が誕生日を迎
えた。

入園審査

十月一日(金)
二〇〇〇年度の入園希望者を親子で面接

をした。

バザー

十月二日(土)
女子中学校・高等学校、同窓会、幼稚園
が共に女子中高の会場で、手作りの品や寄
贈品を販売した。

運動会

十月九日(土)
女子大学テニスコートで、園児が各学年
に分かれて、父母と共に、競技やダンスな
どをした。

遠足

十月十八日(月)
丹波自然公園へ(年中・年長の園児)

園児大会

十月十九日(火)
年中の園児が京都会馆へ出掛け、市長さ
んのお話を聞いたり、歌や手遊びを楽しんだ。

遠足

十月二十一日(木)
上賀茂神社へ(年少の園児)

十月お誕生日会

十月二十二日(金)
十二人の園児とお母さんと共に
十月二十九日(金)
園児全員で梅小路公園へ出掛け、秋の自
然を楽しんだ。

親睦会

十一月五日(金)
年長組の親子で、陶器のお皿とお茶わん
の絵つけをしたり、もちつきをして楽しんだ。

親睦会

十一月十一日(木)

年中組の親子で。

親睦会

十一月十二日(金)
年少組の親子で。

十一月お誕生日会

十一月十九日(金)
七人の園児とお母さんたちと共に。

収穫感謝祭

十一月二十五日(木)
園児たちが野菜や果物を持参し、感謝の
礼拝を行った。

校祖墓参

十一月二十六日(金)
園児全員と父母で、校祖・新島先生の墓
前で礼拝をした。

シチューの日

十二月二日(木)
収穫感謝祭の時持参した野菜を使って作
ったシチューを園児全員で食べた。

クリスマス会食

十二月七日(火)
園児全員で、カレーライス、果物などを
食べた。

十二月お誕生日会

十二月十日(金)
十四人の園児とお母さんたちと共に。
十二月十七日(金)
新島会館で、園児全員と父母と共に、イ
エスさまのお誕生をお祝いする礼拝を行っ
た後、ページェント、歌、オペレッタなど
をした。

クリスマス礼拝・祝会

十二月十七日(金)
新島会館で、園児全員と父母と共に、イ
エスさまのお誕生をお祝いする礼拝を行っ
た後、ページェント、歌、オペレッタなど
をした。